



スライド式コードハーモニカ

## CHORD56 SSCH-56

税込価格 ¥50,600 (本体 ¥46,000)

[SPECIFICATION] コード / 5コードパターン12調子 材質 / カバー: 真鍮+特殊鍍金、ボディ: ABS、マウスピース: 真鍮+鍍銀金  
寸法 / 177×45×33mm 重量 / 265g 付属品 / ABSケース

スライド式を用いることで、コンパクトながら48種類ものコードを演奏可能

スライド式とはスライドレバーを押すことで、鳴る音を切り替える方式のことです。今回この方式をコードハーモニカに採用しました。3穴または4穴を同時に吹き/吸いすると任意のコードが鳴りますが、同じ3つの穴でも、①そのまま吹いた時、②そのまま吸った時、③スライドレバーを押した状態で吹いた時、④スライドレバーを押した状態で吸った時で、それぞれ異なる4種類のコードを鳴らせます。スライド式にすることでコンパクトになり、コードからコードへの移動を素早く行えるという演奏上のメリットが生まれました。

コード配列表 各コードの根音は一番左の音です。

穴番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
平常時	①吹	B <sup>b</sup> A <sup>#</sup>	D	F	A <sup>b</sup> G <sup>#</sup>	C	E	G	B <sup>b</sup> A <sup>#</sup>	D	F <sup>#</sup> G <sup>b</sup>	A	C	E	A <sup>b</sup> G <sup>#</sup>
	②吸	F	A	C	E <sup>b</sup> D <sup>#</sup>	G	B	D	F	A	D <sup>b</sup> C <sup>#</sup>	E	G	B	E <sup>b</sup> D <sup>#</sup>
レバーを押した時	③吹	E	A <sup>b</sup> G <sup>#</sup>	B	D	F <sup>#</sup> G <sup>b</sup>	B <sup>b</sup> A <sup>#</sup>	D <sup>b</sup> C <sup>#</sup>	E	A <sup>b</sup> G <sup>#</sup>	C	E <sup>b</sup> D <sup>#</sup>	F <sup>#</sup> G <sup>b</sup>	B <sup>b</sup> A <sup>#</sup>	D
	④吸	B	E <sup>b</sup> D <sup>#</sup>	F <sup>#</sup> G <sup>b</sup>	A	D <sup>b</sup> C <sup>#</sup>	F	A <sup>b</sup> G <sup>#</sup>	B	E <sup>b</sup> D <sup>#</sup>	G	B <sup>b</sup> A <sup>#</sup>	D <sup>b</sup> C <sup>#</sup>	F	A

メジャー / Major  
セブンス / dominant 7th  
ディミニッシュ / diminish  
マイナー / minor  
オーギュメント / augment

### 様々なパートにチャレンジできる

アンサンブルでは、曲によって演奏のパートを交代することがありますが、コンパクトなSSCH-56なら持ち替えが容易なので曲の間に切れ目なくスムーズにパートチェンジできます。ソロパートが終わったら、次はコードバックングをするなど、特にコードチェンジの多い楽曲の中でいろいろなパートを担う楽しさを味わえるでしょう。



### 奏法やマイキングで広がる音楽表現

そのコンパクトさを活かし、今までのコードハーモニカではできなかったハンドピラート奏法などもできます。コード全体の音色をダイナミックに変化でき、新たな表現が可能に。また、通常のコードハーモニカは横に長いのでバランス良く集音するのに専用マイクが適していますが、SSCH-56はコンパクトなので専用マイクでなくても集音が可能です。そのためマイキングによる様々な効果も開拓できます。発想次第で音楽表現の幅はどんどん広がります。



### 唇で感じるポジションマーク

マウスピースには等間隔に凹み状のポジションマークがあります。この凹みを唇のどの部分に感じるかによって、コードトーン(メジャー/セブンス/ディミニッシュ/マイナー/オーギュメント)を把握できます。例えば、メジャーコードの時に唇で感じる凹みは常に同じ位置なので、目で穴位置を確認する必要なくコードチェンジが可能です。またマウスピースにはシルバー鍍金を施し、口当たり良くスムーズな演奏を約束します。



### ARTIST COMMENT

現在活躍中の若手アーティストの方にSSCH-56についてコメントをいただきました。



#### 大内友哉

ハーモニカデュオ「Bom×Boa」(ボン・ボア)としてデビュー。あらゆるハーモニカを幅広いジャンルでプレイ、他楽器とのセッションにも積極的に参加し、ハーモニカの可能性を追求している。

今までにない新しいコードハーモニカ。コンパクトなボディに効率良く配列されているのでより滑らかにコード移動ができます。音の立ち上がりも良く、強弱やアクセント、レガート、スタッカート様々な演奏表現に対応できます。また、一音一音が独立しているのでアルペジオやボウイングのコントロールも思いのままにステージではハンドマイクでの演奏も可能になり、エフェクターなども効果的に使えます。SSCH-56は、ハーモニカアンサンブルの新しい可能性を広げます。



#### 田中光栄

クロマチック、10ホールを自在に操りジャンルレスに吹きこなす。プレーヤーとしてだけでなく、教室や教則本の出版を行うなど指導者としても活躍。

クロマチック&10ホール奏者の私にとって、食指が動くコードハーモニカが誕生した手のひらサイズに全てのメジャー、マイナー、ディミニッシュ、オーギュメントを搭載、代理コードを使いこなせば幅はさらに広がる。こいつがあればいつでもどこでもジャズセッションが出来るブルースを聴いたらAll Of Me, Autumn Leavesあたり、そしてAll The Things You Areなんか吹いたら最高だね!



#### Filip Jers (フィリップ・ヤース)

スウェーデン出身のハーモニカプレーヤーであり音楽家。2005年ドイツのハーモニカコンテストで金賞授賞の実力を持つ。ジャズからスウェーデン民謡まで演奏ジャンルは多岐にわたる。

SSCH-56は好奇心旺盛なプレーヤーの新たな扉を開けるでしょう。この画期的なモデルはスズキが世界をリードするハーモニカメーカーであることを表しています。特長は14穴クロマチックハーモニカのサイズに全メジャー/マイナー/オーギュメント/ディミニッシュコードを装備していること。すごい演奏をこれほど身近に感じ、携帯性に優れたコードハーモニカは初めてです。

#### ●お問い合わせ